

中央市住まいの耐震化促進事業（住宅耐震改修工事費補助） **申請者用チェックシート**

交付申請書

提出時チェック

※住宅耐震改修計画策定費補助の実績報告書と同時提出の場合④⑤⑦の書類は不要

確認項目	審査結果
1. 補助金交付申請書	<input type="checkbox"/> 有
(1) 申請者の住所(郵便番号)、氏名	<input type="checkbox"/> 適
(2) 補助金等交付申請額(収支予算書と一致)	<input type="checkbox"/> 適
収支予算書(別記)	<input type="checkbox"/> 有
(1) 科目(様式記入例確認)	<input type="checkbox"/> 適
(2) 様式(収支予算書になっているか)	<input type="checkbox"/> 適
(3) 予算額(単位円、収支の計が一致)	<input type="checkbox"/> 適
(4) 市町の上乗せ補助の有・無	<input type="checkbox"/> 適
(4) 摘要(補助対象外の見積を含む場合は、「全体見積額」を記載)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 対象外
2. 耐震改修工事住宅概要書(様式第耐震1-2号)	<input type="checkbox"/> 有
(1) 建築物の所在地(証明書の地番を記入)	<input type="checkbox"/> 適
(2) 建築物所有者(証明書と一致)	<input type="checkbox"/> 適
(3) 建築物所有者の住所(証明書と一致)	<input type="checkbox"/> 適
(4) 建築年月(証明書と一致)	<input type="checkbox"/> 適
(5) 証明書と面積があっているか	<input type="checkbox"/> 適
3. 補助金算定書(様式第耐震2号)	<input type="checkbox"/> 有
(1) 補助金(算定・精算書)になっているか	<input type="checkbox"/> 適
(2) 下記のとおり(見積り・精算)致しますになっているか	<input type="checkbox"/> 適
(3) 住宅耐震改修工事費補助が○で囲われているか	<input type="checkbox"/> 適
(4) 算定額は工事費内訳書と一致しているか	<input type="checkbox"/> 適
(5) 工事費内訳書(明細書)の検算	<input type="checkbox"/> 適
④. 住宅の所有者および建築年が確認できる書類(写し)	<input type="checkbox"/> 有
<input type="checkbox"/> 住宅の建築確認通知書又は検査済証	
<input type="checkbox"/> 住宅の登記事項証明書	
<input type="checkbox"/> 住宅の固定資産課税台帳(評価額)証明書	
⑤. 耐震診断報告書(様式第耐震3号)	<input type="checkbox"/> 有
(1) 耐震診断を行った建築士(耐震診断者)の記名	<input type="checkbox"/> 適
(2) 改修前後における耐震診断計算書の添付	<input type="checkbox"/> 適
6. 所得証明書(写し) ※市町の発行する市町県民税課税(所得)証明書	<input type="checkbox"/> 適
⑦. 住宅耐震改修に係る図書(設計図書には建築士の記名)	<input type="checkbox"/> 有
(1) 付近見取り図	<input type="checkbox"/> 適
(2) 配置図	<input type="checkbox"/> 適
(3) 平面図及び立面図(耐震改修前後)	<input type="checkbox"/> 適
(4) その他耐震改修工事内容が確認できる図書(詳細図、屋根伏図等)	<input type="checkbox"/> 適
8. 改修工事にかかる建築確認済証(必要な場合)	<input type="checkbox"/> 適 <input type="checkbox"/> 対象外
9. 改修工事を実施する事業者の兵庫県「住宅改修事業の適正化に関する条例」に基づく住宅改修業者登録制度による登録証の写し	<input type="checkbox"/> 有
10. 耐震改修工事实績公表同意書(様式第耐震5-1号)	<input type="checkbox"/> 適
11. 委任状(代理人が申請手続きを行う場合)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 対象外
12. 添付資料の順番はあっているか	<input type="checkbox"/> 適
13. 上部構造点等が必要値の2倍を超える場合、理由書が添付されているか	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 対象外

区分所有の共同住宅である場合	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 対象外
(1) 管理組合の議決等を経たことを証する書類	<input type="checkbox"/> 有
(2) 戸数及び住戸ごとの専用面積が確認できる書類	<input type="checkbox"/> 有
(3) (管理組合の理事長等が申請者の場合)理事長等を証する書類	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 対象外
(4) (店舗併用住宅の場合)住宅部分の補助対象経費算定に必要な書類	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 対象外

補助金等交付申請書

宍粟市長 様

窓口へ提出する日付
をご記入ください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

〒671-2593

所在地 宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6

(ふりがな) しそう たろう

名称 宍粟 太郎

代表者氏名

性別 男・女 生年月日 H〇〇年〇〇月〇〇日

(個人にあつては、住所及び氏名)

郵便番号も忘れずにご記入ください。

次のとおり補助金等の交付を受けたいので、宍粟市補助金等交付規則第3条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

なお、この申請書の記載事項について、事実と相違ないことを誓約するとともに、宍粟市補助金等交付規則第2条第3号に規定する排除対象者に該当しないことを誓約します。

また、市が上記内容を確認するため、この申請書に記載した個人情報を宍粟警察署長に照会することについて同意します。

1 補助年度		令和〇〇年度
2 補助事業	(1) 名称	宍粟市住まいの耐震改修事業 (住宅耐震改修工事費補助)
	(2) 概要	築後〇〇年経過し、耐震診断の評点が 1.0 未満の 0.6 の「危険」と診断された為、地震に対する安全性を確保する耐震改修工事を行う。
	(3) 着手及び完了 年月日 (予定)	着手 令和〇〇年〇〇月〇〇日 完了 令和〇〇年〇〇月〇〇日
3 補助金等交付申請額		1,000,000円
4 添付書類	〇戸建住宅 対象となる費用の4/5以内(限度額100万円) 〇共同住宅 対象となる費用の1/2以内(限度額40万円/戸)	

業者への代金支払い
日をご記入ください

業者との契約予定日
をご記入ください。

収 支 予 算 書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
市補助金	1,000,000円	
自己資金	250,000円	
計	1,250,000円	

対象となる費用の4/5以内(限度額100万円)です。

補助対象金額(税込)を記入して下さい。

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
住宅耐震改修工事費	1,250,000円	
計	1,250,000円	

- (注) 1 収支の額はそれぞれ一致します。
 2 国県補助金等は、見込額を記入してください。

耐震改修工事住宅概要書（個表）

（住宅耐震改修工事費補助）

住宅の名称	穴栗 太郎 邸		
住宅の所在地（地番）	穴栗市山崎町中広瀬 133 番地 6		1 申請者の住所と同一 2 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	穴栗 太郎	
	住所	穴栗市山崎町中広瀬 133 番地 6 Tel 0790-63-3106	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	株〇〇工務店	
	担当者氏名	〇〇 〇〇	Tel 0790-〇〇-〇〇〇〇
建築確認年月日	昭和55年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇号 ・ 不明		
検査済証	昭和55年〇〇月〇〇日 第〇〇〇〇号 ・ 不明		
建築年月	昭和55年〇〇月頃竣工		
形態種別	1 戸建住宅 2 共同 棟数 棟、戸数 戸（うち補助対象戸数 戸）		建築年月は証明書に 合わせて下さい
規模 改修前：上段（ ）書き 改修後：下段	地上（ 2 ）階 地下（ ）階 塔屋（ ）階		
	建築面積（ 100 ） 100 m ²	延べ面積（ 180 ） 180 m ²	
設備要件	1 居室 2 台所 3 トイレ 4 出入口		
店舗等併用住宅の 場合の規模	店舗等の用に供 する部分の 床面積 3.0 m ²	延べ面積に対する 店舗等の用に供する部分 の床面積の割合 16.66%	
構造種別	1 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他（ ）		
備考	店舗併用住宅の場合のみ ご記入下さい		

添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

算定を○で囲んで、精算を二重線で消して下さい。

補助金 **算定・精算書**

兵庫県「住宅改修事業の適正化に関する条例」に基づく住宅改修業者登録制度に登録された業者にて記入してください

住宅改修業者登録 第 〇〇〇〇〇〇号
 所在地 宍粟市〇〇町〇〇番〇
 会社名 (株)〇〇工務店
 代表者名 〇〇 〇〇

下記のとおり **見積り** ・ ~~精算~~ 致します。

(~~住宅耐震改修計画策定費補助~~、 **住宅耐震改修工事費補助**)

住宅の所有者	宍粟 太郎	
住宅の所在地	宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6	
住宅の建て方 ^{※1}	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> 共同住宅	
(共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸
	うち補助対象戸数(b) ^{※2}	戸
総工事費 (c)=(a)+(b)		1,250,000円
補助対象工事費 (a)		1,250,000円
その他工事費 (b)		0円
補助金額 ^{※3} (f)		1,000,000円

- ※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けてください。
- ※2 所得が 12,000 千円（給与収入のみの者にあつては給与収入が 14,200,000 円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 住宅耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。（住宅耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要）
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を()書きで併記してください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額
戸建住宅	(耐震改修工事に要する額 (上限 125 万円)) × 4/5 (千円未満の端数切捨て)
共同住宅	(耐震改修工事に要する額 (上限 80 万円/戸)) × 1/2 (千円未満の端数切捨て)

【添付書類】 耐震改修工事費内訳書

耐震改修工事費内訳書 (例)

I. 直接工事費 内訳書

名 称	数量	単位	金 額	備 考
A. 補助対象工事				
直接工事費	1	式		
共通費・諸経費	1	式		
消費税	1	式		
合計(a)				
B. 補助対象外工事	1	式		
直接工事費	1	式		
共通費・諸経費	1	式		
消費税				
合計(b)				
総計(c)=(a)+(b)				
A. 補助対象工事費				
A-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式		
(2)耐震補強工事 1	1	式		
(3)耐震補強工事 2	1	式		
(4)屋根工事	1	式		
() ...	1	式		
() ...	1	式		
() ...	1	式		
() ...	1	式		
A-2 共通費・諸経費	1	式		
A-3 消費税	1	式		
A 合計				
~~~~~				

A. 補助対象工事費 内訳明細書

名 称	摘 要	数量	単 価	金 額	備 考
(1)直接仮設工事					
墨出し			式		
足場			m ²		
養生			m ²		
…					
計					
(2)耐震補強工事 1	①和室 1				
構造用合板	t=12		m ²		
壁 部分解体			m ²		
床 部分解体			m ²		
天井部分解体			m ²		
壁 部分仕上			m ²		
床 部分仕上			m ²		
天井部分仕上			m ²		
片引きフラッシュドア	しな合板 W900*H1,820		箇所		新設
計					
~~~~~					
(4) 屋根工事					
屋根ふき替え工事			m ²		
樋取替え工事	横樋 取替え工事		m		
計					
~~~~~					
( )					
計					

## 耐震診断報告書

宍粟 太郎 様

耐震診断者氏名 〇〇 〇〇  
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇〇号  
建築士事務所名  
(一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第 〇〇〇〇〇号

宍粟太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

## 記

1 住宅の名称	宍粟 太郎 邸
所在地	〒671-2593 宍粟市山崎町中広瀬 133 番地 6
2 耐震診断の方法	「木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における耐震診断結果*1 評点 0.6	(所見) 有効な壁の量はほぼ満足しているものの壁の配置が偏っていることから、上部構造評点が1階 X 方向 0.6、Y 方向が 0.7 となっており倒壊する可能性が高い。 改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is 値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述してください。
4 改修後における耐震診断結果 評点 1.1	(耐震改修の方針) 耐力壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は X・Y 両方向ともに 1.0 を上回り、耐震性能の向上を図る。 (具体的な補強方法) 耐震壁 (筋交い 45×90) をバランスよく追加、増設する。
5 備考	

【添付資料】耐震診断計算書 (改修前後)

窓口へ提出する日付  
をご記入ください。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

## 耐震改修工事実績公表同意書

宍粟市長 様

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第〇〇〇〇〇〇号号  
所在地 宍粟市〇〇町〇〇番地〇  
会社名 (株)〇〇工務店  
代表者名 〇〇 〇〇

下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

### 記

- 業者について  
住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先 (TEL)、実施件数
- 工事内容について  
住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所(市町名のみ)、補助種別、建て方、構造、  
建築年月、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、  
延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷ (改修後評点－改修前評点)